

# ガンコ親父の

息子の学から貰ったシューズを履いて、雨風問わず、ほとんど毎日走り込んだのに、桜マラソンの出走結果は思ったよりも悪かった。しかし、走ることに異常に高いプライドを持つ松次郎だが、意外にも結果を素直に受け入れていた。

大会前までは、自信過剰気味に「優勝や！」と言い続けていたのが、結果、ほら吹き親父になってしまったが、まあそれは仕方がない。

「親父は良くやったよ。順位なんか関係ないよな」などと、学から余計な慰めの言葉をかけられた時だけは、さすがにムツとしたが、それでもなんとか聞き過ごせた。

以前の松次郎なら、考えられないことだった。

精神的に丸くなって来たのには理由があった。松次郎にとって、学と花菜の間に出来た「孫の力」は絶大だった。怒る心を削いでくれたのだ。孫は、独りよがりな人間にならないように、そして親の良い性格を受け継がれるようにと、譲(ゆずる)と名付けられていた。

松次郎の毎日は、「譲」の朝の寝顔で始まり、夜もその寝顔で終わっていた。

妻の貴代は松次郎の精神的な変化に、何食わぬ顔をして「赤ちゃんだけじゃなくって、こんな歳になっても、人間って成長するものなのね」と言った。当たり前だ、優れた人間というものは死ぬまで成長を続けるもんだ。まあ、お前には分らんだろうが

「はい、はい」と貴代は応じたが、すぐに「はいはいは一回でいい!」という大きい声が返ってきた。しかし笑い声を含んでいた。

先目、貴代はバレンタインデーに、花菜と一緒に選んだ「チョコ」レイトと「しまっちゅ伝蔵」を贈った。松次郎の帰宅が遅くなり、バレンタインデーが終わる直前に手渡すことになった。「わく、間に合ったわ、ギリギリチョコね」と貴代が言っていると、松次郎は「それって、『義理』の2乗ってことか?」と上機嫌だった。

松次郎が自家栽培のゴーヤーを裏の婆さんに分けてあげているからか、お返しの商品がバレンタインに届けられていた。二月十四日が煮干しの日だということでおつまみ煮干しだった。婆さんにしては洒落たことをすると松次郎は笑った。笑えることが多い。なんだか、久しぶりに気持ちの良い春になりそうだ。大島高校は春の選抜高校野球での甲子園デビューが決まっているし、子供達にも頑張れば夢を引き寄せることが出来る、希望を与えられたことが大きい。

天気がいい日、松次郎一家は外で一杯やるつと、坂道を歩いていた。目の前を、野球の道具を持った子供達が道いっぱいに広がり、ゆっくり歩いている。向こうから、お年寄りの二人組が歩いてくるが、子供達はそれに気付かず、話に夢中で道を空けようとしないうち、松次郎は怒った。

「こら、お前達、道を空けてやれ、つー!」大きな声に驚き、子供達はサッと道を譲った。「よし、ゆずる人には金メダルだ」頑固親父は健在だった。貴代はふふっと含み笑いをした。

マゴ  
チカラ

25度  
好評発売中



喜界島酒造株式会社  
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12  
TEL 0997(65)0251

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造はこの活動を応援しています。



the most beautiful villages in japan  
喜界町  
鹿児島県



昔ながらの手造り  
こだわり焼酎

喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統を受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。

2013年春季全国酒類コンクール・黒糖焼酎部門第1位受賞

常圧蒸留

しまっちゅ  
伝蔵  
でん  
ぞう



# 孫力に乾杯!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児に悪影響を与えるおそれがあります。